

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名

消防団のデジタル化事業

自治体名

大井町

消防団名

大井町消防団

1 事業の目的・必要性

消防団員の円滑な招集や活動記録を自動作成することで、消防団員の事務負担軽減を図る。また、出動報告書のデジタル化及び自動作成、活動報酬の自動計算により、適正な支払いをすることで、消防団活動の透明性を高める。

2 事業内容

消防団の充実強化と管理強化を目的に消防団活動支援システムを導入した。導入先は大井町消防団員、大井町役場消防団事務局職員。セキュリティの担保された専用アプリを消防団員のスマートフォン等に導入を行った。消防団員に対する出動指令のほか、水利台帳を電子化してマップで確認できるように改善。さらに事務連絡、出動記録の提出等をシステム化することで、団員の災害現場での活動を支援するとともに、活動実態の把握による適正な報酬算定の実現と、団員の事務処理負担の軽減を図った。

3 事業成果

システムの導入により、災害発生時には、従来の防災行政無線だけでなく団員個人のスマートフォンにアプリを通じて指令を出すことが可能となり、日中は町外で仕事をしている団員にも即時に指令を伝達する態勢が整った。

また災害発生場所をアプリの地図で確認し、あわせてこれまで紙で配布していた水利位置を、同じ地図上で見られるようになったことから、災害点の把握・部署位置の検討・現場での指示が迅速に行える環境が整った。

出動報酬の算定にあっては、活動内容を分団側がアプリに入力することで活動報告書とすることができるようになったため、団員の事務負担の軽減となったほか、分団内でのスケジュール管理とその出欠把握などの機能をそれぞれで活用している。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	1	1	
導入率	%	100	82%	
デジタル資料	回数	5	5	

5 その他参考情報

